

2012年産果樹共済金（リンゴ） 6,542万円

2012年産リンゴの果樹共済（減収総合一般方式、特定危険方式）損害評価高がまとまり、2月15日に支払対象農家131戸に対して共済金6,542万1,230円が支払われた。

加入方式別の支払共済金は、半相殺減収総合一般方式が10戸、236万5,720円、半相殺特定危険方式が116戸、6,070万5,090円、樹園地単位特定危険方式が5戸、235万420円となっている。

主な被害は雪害、冷害（カラマツ）、ひょう害などの気象被害が発生したため、りんご共済において支払対象となった被害（共済事故）は以下のとおり。

1. 総合一般方式（ひろさき広域管内）

（1）雪害

24年1月～3月まで降雪量が平年の約2倍となり、山間地域を中心にりんご樹の主幹及び主枝等に裂開、欠損の被害が発生し、収穫期において果実量の減少が見られた。総合一般方式の被害全体の60%を占めた。



積雪量160cmの雪に埋もれた園地
（青森市浪岡 撮影日 H24.2.8）

（2）獣害

山間地域の積雪量の多い園地では、野ウサギ・野ネズミによる樹皮の食害が発生した。総合一般方式の被害全体の0.1%を占めた。

（3）冷害（カラマツ）

平成24年5月の開花時期に低温や降雨が続き、開花後に結実しないカラマツ（不受精花）が多く発生し、果実量の減少が見られた。総合一般方式の被害全体の39.0%を占めた。

（4）その他の気象上の原因（日焼け）

平成24年8月、9月に高温日照りが続き、日焼け被害を受けた果実が多く見られた。総合一般方式の被害全体の0.6%を占めた。

（5）病害

一部地域でフラン病が発生した。総合一般方式の被害全体の0.3%を占めた。

2. 特定危険方式

(1) ひょう害

5月28日（ひろさき広域と南部地域管内）、6月7日（南部地域管内）、7月5日（津軽広域とひろさき広域管内）、8月6日（南部地域管内）、9月25日（津軽広域管内）、10月5日（南部地域管内）、10月21日（ひろさき広域管内）の計7回にわたり、県内各地で局地的にひょう害が発生した。特定危険方式の被害全体の99.5%を占めた。

その中でも、7月5日の青森市浪岡地区、五所川原市において発生したひょう害では一部園地において甚大な被害が発生し、被害全体の92.4%を占める大きなものとなった。



7月5日の降ひょうを受けた王林（青森市浪岡 撮影日 H24.10.30）

(2) 風水害

7月5日にひろさき広域の一部地域（楡木地区）で竜巻が発生し、通過点付近の園地で樹の倒伏、枝折れ、果実の落果する被害が見られた。特定危険方式の被害全体の0.5%を占めた。

なお、津軽広域、ひろさき広域で実施しているぶどう共済については、無被害となった。

2012年産果樹共済(リンゴ) 損害評価高

組合名	加入方式 (支払対象となった方式のみ表記)		支払対象		被害割合	
			戸数 (戸)	共済金 (円)	戸数 (%)	金額 (%)
津軽広域	半相殺 特定危険	2点セット	11	3,875,250	1.3	0.2
		計	11	3,875,250	0.7	0.1
ひろさき 広域	半相殺総合一般		10	2,365,720	34.5	7.0
	半相殺 特定危険	暴風雨	3	304,750	0.1	0.004
		ひょう害	1	1,528,950	12.5	6.8
		2点セット	79	44,791,080	6.7	1.3
		3点セット	18	9,840,480	4.8	1.1
	樹園地 特定危険	2点セット	4	1,812,890	7.7	1.2
		3点セット	1	537,530	1.8	0.2
計		116	61,181,400	2.3	0.5	
南部地域	半相殺 特定危険	3点セット	4	364,580	2.9	0.2
		計	4	364,580	1.0	0.1
合計	半相殺総合一般		10	2,365,720	32.3	5.7
	半相殺 特定危険	暴風雨	3	304,750	0.1	0.003
		ひょう害	1	1,528,950	6.3	3.8
		2点セット	90	48,666,330	4.4	0.9
		3点セット	22	10,205,060	3.4	0.7
	樹園地 特定危険	2点セット	4	1,812,890	7.1	1.1
		3点セット	1	537,530	1.8	0.2
計		131	65,421,230	1.8	0.4	